

# 事業報告

## 令和3年度研究会報告

### 法学研究所

#### 刑事法研究会

(第1回例会)

1、2021年5月22日(土) 16:30

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

駐車トレーラー追突致死事件(金沢地判令和3年4月8日〔判例集未搭載〕)

日本大学法学部元教授・弁護士 船山 泰範

(第2回例会)

1、2021年7月10日(土) 16:30

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

医療行為における患者の仮定的同意

日本大学大学院法学研究科博士前期課程2年 白 涵佑

## 政経研究所

### 政治研究会

(第1回例会)

1、2021年5月21日(金) 17:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

インターネットをめぐる環境変化が民主主義に与える影響—「民主主義の後退」との関係を中心に—

清泉女子大学・教授 山本 達也

(第2回例会)

1、2021年7月1日(木) 17:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

グローバル化、国家の強化、権威主義化の関係の考察

和洋女子大学国際学部・教授 杉浦 功一

(第3回例会)

1、2021年9月16日(木) 18:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

政党システムにおける政党間カルテルの形成と存続に関する研究

本学助教 浅井 直哉

(第4回例会)

1、2021年9月30日(木) 17:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

競争を否定する選挙法—戦後日本における選挙運動規制の形成と展開—

本学助教 安野 修右

(第5回例会)

1、2021年9月27日(月) 17:30

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

安全保障研究の今日的意義

聖心女子大学・教授 坪内 淳

## 経済研究会

(第1回例会)

1、2021年6月10日(木) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

経営倫理に依拠したリスク・マネジメントの在り方—COVID-19による環境変化を中心—

本学専任講師 鈴木 貴大

(第2回例会)

1、2021年7月22日(木) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

Stewardship Codes, Institutional Investors, and Firm Value: International Evidence

本学准教授 池田 直史

## 政経研究所共同研究研究会

(第1回例会)

1、2021年8月20日(金) 13:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

ポスト・グローバル化時代のWHO・IHR体制: 往来制限は新型コロナ対策として正しいのか

山梨大学生命環境学部・准教授 小松 志朗

## (第2回例会)

1、2021年8月23日(月) 15:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

インド・モディ政権の感染症対策と外交戦略のゆくえ

防衛研究所理論研究部長 伊豆山 真理

## (第3回例会)

1、2021年10月4日(月) 17:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

COVID-19パンデミックと地方自治：民意でよみとく社会の変化

同志社大学政策学部・教授 野田 遊

## (第4回例会)

1、2021年10月18日(月) 12:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

主権者教育と熟議—理論と実際

青山学院大学法学部・教授 松田 憲忠

## (第5回例会)

1、2021年12月3日(金) 15:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

Covid-19からの復興過程におけるイタリア政治の変容：「経営者たる国家」の復活？

共立女子大学国際学部・教授 八十田 博人

## (第6回例会)

1、2021年12月14日(火) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

南アフリカのCOVID-19対応とその限界：HIV/エイズや貧困問題への取り組みの経験は活かされたか

日本貿易振興機構アジア経済研究所 地域研究センター・アフリカ研究グループ長  
牧野 久美子

(第7回例会)

1、2022年1月17日(月) 15:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

コロナ危機における「日本的例外」

同志社大学政策学部・教授 吉田 徹

(第8回例会)

1、2022年1月17日(月) 15:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

コロナ危機における統治と自治と共治(仮)

北海道大学公共政策大学院／法学部・准教授 村上 裕一

## 令和2年度学内学会・研究所合同研究会

1、日時 令和3年3月17日（水） 9：30開場 9：50開会

2、開催方法 Zoomによるオンライン開催

司会・進行 笹田 佳宏, 石橋 正孝, 木川 裕, 田中 夏樹, 三澤 真明

3、自由論題

①オリンピック開催期間におけるテレビニュースの  
量的傾向に関する考察

中 正樹

②ドイツ環境法上の団体訴訟の動向

小澤久仁男

③社会保障法制における子ども支援

橋爪 幸代

④企業の『経済性』と『社会性』の両立に向けた  
SDGsの実践における課題

鈴木 貴大

4、日本大学法学部学術賞講演

①民主主義理論と政治教育

荒井 祐介

②1950年代における後援会普及と選挙運動規制

安野 修右

5、在外研究報告

①行政計画の仕組みと市民参加に関する考察  
—ドイツにおける展開を中心に

長谷川福造

6、退任記念講演

①政治学と政治改革—体験的 relevancy

岩井 奉信

②振り返りつつ、今想ふこと

藤村 和夫

## 令和2年度・令和3年度定期無料法律相談会

令和2年度・令和3年度定期無料法律相談会は、千代田区及び校友弁護士の協力を得て開催された。概要は、下記のとおりである。定期無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り、学生たちの法学実践教育を行うという目的を達成することができた。

### 1、日 時

#### 【令和2年度】

(第5回) 令和3年2月13日(土)

#### 【令和3年度】

(第1回) 令和3年11月13日(土)

(第2回) 令和3年12月18日(土)

※いずれも時間は、午後1時～午後3時

### 2、場 所

法学部5号館

### 3、参加者(敬称略:50音順)

(専任教員)

帷子 翔太・清水 恵介・横山 裕一

(校友弁護士)

阿部 造一・岩田 真琴・町田 伸明

(補助学生)

参加教員担当ゼミナール学生等 各回2名

### 4、相談件数・内容

①件数 11件

②内容

消費者問題(訪問販売, マルチ商法, 悪徳商法, インターネット商法など)	1件
労働問題(従業員のトラブル, 解雇, 配置換えなど)	2件
家族関係(離婚, DV, 児童虐待など)	2件
扶養, 相続関係(遺言, 遺産分割)	4件
交通事故	1件
交通事故以外の不法行為(名誉毀損, 器物損壊など)	1件



## 令和3年度法律討論会

第43回法律討論会は、日本大学法学研究所による主催、日本大学法曹会及び日本大学法学部校友会の後援により令和3年10月30日（土）12時00分から法学部10号館1階1011講堂において開催された。

今回の法律討論会では、新たな試みとしてYouTubeによるライブ配信を行うとともにZoomによるオンライン質問ができるようにした。

（出題者）

鶴岡 拓真 弁護士

（審査員）

本多 健一 裁判官・西尾 浩登 検察官・加藤 秀俊 弁護士

（進行）

今井 勇太 弁護士

### ◆問題

- 1 甲（35歳男性，身長180cm，体重75kg，中肉中背）は，仕事帰りに繁華街で飲食をし，店を出て歩いていたところ，前からスマホをいじりながら歩いて来た若い男性V（19歳男性，身長175cm，体重55kg，やせ気味）とぶつかった。甲は，自分は道の左端を歩いていたのに，前方を確認せずにぶつかったVに腹を立て，Vに対して「どこ見て歩いているんだこの野郎」と怒鳴りつけた。これに対し，Vも甲に対して「お前こそどこ見て歩いているんだ」と怒鳴り返した。
- 2 甲は，ケンカになるかもしれないと思ったが，Vを許せない気持ちが収まらず，また酔って気が大きくなっていたので，とことんやってやると思い，Vに怒鳴り返し，お互いにヒートアップしていった。
- 3 甲とVは怒鳴り合っていたが，Vが甲の胸ぐらを掴んだことから，甲はVの手を引きはがすためにVを強く突き飛ばした。突き飛ばされたVは，バランスを崩して，道路脇に転倒した。このとき，Vはとっさに左手を出したため，左手首を捻挫した。
- 4 突き飛ばされたことに腹を立てたVは，その場に落ちていた鉄パイプ（長さ50cm，直径3cm，重さ0.4kg）を拾って，甲の頭をめぐらして殴りかかった。これに対して甲は，持っていた鞆で鉄パイプを防ぎ，そのまま鞆を振り回してVの顔や肩付近を2，3度殴打した。なお，甲が持っていた鞆は，革製のビジネスバッグで，中には約2kgのノートパソコンや紙の資料等が入っていた。
- 5 甲に鞆で殴打されたVは，手に持っていた鉄パイプを落とした。しかし，夢中に

なっていた甲は、鞆を振り回し続け、Vの顔や肩を殴打した。

6 これらの甲の攻撃を受けたVは、再び転倒して尻餅をついた。そして、Vがズボンのポケットを右手で探るような仕草をしたところ、甲はVがナイフ等の凶器を取り出そうとしているのではないかと思い、このままVを痛めつけなければナイフで刺されて殺されてしまうと考え、Vが落とした鉄パイプを拾って、Vを何度か殴りつけた。通りかかったAが、甲に「何をやっているんだ！」と声をかけたため、甲は我に返って手を止めた。

7 これらの一連の暴行によって、Vは加療約4週間の怪我を負ったが、突き飛ばした行為を除き、どの怪我が甲のどの行為によるものか判別できなかった。また、Vはナイフ等の凶器を所持しておらず、Vがナイフ等を取り出そうとしていると甲が考えたことは誤信であったことが判明した。

以上を前提に、甲の各行為について、個別に評価するのか、それとも一部又は全部について一体と評価するのか、自らの立場を明確にしつつ、甲の罪責を検討しなさい（特別法の検討は不要）。

今年度における法律討論会では、法律討論会実行協議会における議論を踏まえて、学生からの質問がより活発になるようにするため従前からのルールを大幅に変更し、3人1組で6チームが出場し、各チーム一人の立論者が10分以内で論旨を発表し、他の二人が他の出場チームや傍聴者からの質疑応答に対して15分間応答するというルールのもとに今年度の法律討論会を実施した。

討論会に先立ち、日本大学法学部長の小田司教授及び日本大学法曹会会長の有吉眞弁護士からの挨拶があり、続いて進行係の今井勇太弁護士から発表の手順と審査基準等の説明がなされたあと討論が開始された。

討論終了後、審査員を代表して加藤秀俊弁護士から審査結果の発表があり、続いて本多健一裁判官及び西尾浩登検察官からの講評があった。引き続き、表彰式が行われ、法曹会、法学部校友会から優勝チームに法曹会杯・法学部校友会杯が授与された。また、優勝、準優勝及び3位の各チームに対して法曹会から盾が授与されるとともに法学部校友会から副賞として図書カードが授与された。

あわせて法学部校友会から出場者全員に出場記念品が贈呈されるとともに、法学研究所から参加賞としての図書カードがそれぞれ授与された。

今年度は、コロナ禍での実施となるため、例年法律討論会終了後本館地下食堂にて実施している出場者・関係者による懇親会は、中止となった。

成績結果は、以下のとおりである。(カッコ内は、学科・学年)

優勝 (第4組)

小川 智也 (法律学科3年)・木村健太郎 (法律学科3年)

近藤 貴志 (法律学科4年)

準優勝 (第1組)

相場 遥人 (法律学科4年)・館野 友彰 (法律学科4年)

遠藤 友樹 (法律学科4年)

第3位 (第2組)

鴨 温希 (法律学科4年)・飯野 拓真 (法律学科4年)

松田 毅 (法律学科4年)

参加賞 (順不同)

- ・相場 遥人 (法律学科4年)・館野 友彰 (法律学科4年)
- ・遠藤 友樹 (法律学科4年)・鴨 温希 (法律学科4年)
- ・飯野 拓真 (法律学科4年)・松田 毅 (法律学科4年)
- ・松本 菜摘 (法律学科3年)・平井 桃子 (法律学科3年)
- ・高本 志遠 (法律学科3年)・小川 智也 (法律学科3年)
- ・木村健太郎 (法律学科3年)・近藤 貴志 (法律学科4年)
- ・草野 光稀 (法律学科3年)・赤羽 祐亮 (法律学科3年)
- ・高橋 昇太 (政治経済学科3年)・藤田 蘭丸 (博士前期課程1年)
- ・木内 菜摘 (法律学科4年)・東野 たまき (法律学科3年)

優秀質問賞

- ・相場 遥人 (法律学科4年)・玉城 心 (法律学科1年)
- ・草野 光稀 (法律学科3年)・藤田 蘭丸 (博士前期課程1年)
- ・館野 友彰 (法律学科4年)

## 令和3年度国家試験合格者（研究室生）

### ◆司法書士試験 3名

宇井 泰聖（法律学科4年在学中）

谷本 駿介（法律学科4年在学中）

青山 裕昭（昭和54年・法律学科卒業）

### ◆弁理士試験 1名

久住 愛美（経営法学科3年在学中）

### ◆公認会計士試験 3名

完塚 良多（経営法学科3年在学中）

塚田 淳矢（経営法学科3年在学中）

中村 友樹（法律学科4年在学中）